

まちづくり調査特別委員会記録

令和6年6月28日開催

- 1 日 時 令和6年6月28日（金）9：58～10：36
- 2 場 所 委員会室
- 3 出席議員 湯浅委員長 西川副委員長
平山委員 渡部委員 住友利広委員 小野委員
喜多委員 久米委員 奥田委員 佐々木委員
- 4 欠席委員 荒谷委員 福谷委員
- 5 正副議長 藤本議長 武田副議長
- 6 傍聴議員 住友進一
- 7 出席理事者 西田副市长 平井副市长 東條政策監 篠原政策監
高山都市整備部長 清原都市計画課長
西條都市政策課課長補佐 岡田都市政策課主査
今西都市政策課係長
- 8 事務局 佐坂議会事務局長 近藤議事課長 平瀬課長補佐
- 9 傍聴者 0人
- 10 記者 1人

【 会議の概要 】

議題

(1) 阿南市立地適正化計画における拠点形成について

【 9 : 5 8 開会 】

湯浅委員長 皆さん、おはようございます。本日は何かとお忙しい中、お集まりをいただきましてありがとうございます。定刻より少し早いんでございますが、ただ今からまちづくり調査特別委員会を開会いたします。本日、欠席の届けがありましたのは荒谷委員、福谷委員でございます。

開会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。本格的な人口減少、少子高齢化を迎え、阿南市においても身近な居住環境を改善し、地域の魅力や活力を高める早急な取組が必要であると考えます。さて、本日の議題といたしまして、お手元の次第にありますとおり、阿南市立地適正化計画における拠点形成について、理事者から説明を受けたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、理事者を代表して平井副市長から御挨拶をいただきます。平井副市長。

平井副市長 おはようございます。湯浅委員長をはじめ、委員の皆様には何かと御多用のところ、まちづくり調査特別委員会を開催いただきまして誠にありがとうございます。

本日の委員会におきましては、阿南市立地適正化計画における拠点形成について御説明をさせていただきます。この立地適正化計画は、平成26年8月に施行されました改正都市再生特別措置法において、今後見込まれる人口減少や少子高齢化を背景とし、ネットワーク型コンパクトシティの実現を推進するために制度化されたものでございまして、本市におきましては平成30年度に策定をしたものでございます。このあと、担当課長から計画概要を御説明させていただきます。本日は、どうかよろしくお願い申し上げます。

湯浅委員長 ありがとうございました。それでは早速、議題に入りたいと思います。

(1) 阿南市立地適正化計画における拠点形成について

湯浅委員長 議題1、それでは「阿南市立地適正化計画における拠点形成について」、説明をいただきます。清原都市政策課長。

【理事者説明 清原 都市政策課長】

湯浅委員長 ありがとうございました。
小休いたします。

湯浅委員長 再開いたします。

ただ今、資料をもとに説明をいただきましたが、これより委員からの御意見や御質問などをお受けしたいと思います。御意見、御質問等はございませんか。喜多委員。

喜多 委員 一応、今、説明受けたんですけれども、一番大事な、那賀町なんかは2年前が16人、去年が11人出生と。だんだん人が少なくなって、もちろんこういうまちづくりも、基本的には少子高齢化に対しての答えを何とか出そうとしてると。恐らく45年あたりで、徳島県、50%、65歳以上になると思うんですけれども、そういった人口動態から踏まえて、待ったなしの少子高齢化に向けての処方箋だと思うんですけれども、今回、すいません、この資料作るにあたって、2050年、国交省から出てます、先ほど、国交省ってあったんだけど、「国土のグランドデザイン2050」というのはお読みになっておられますか。

湯浅委員長 清原都市政策課長。

清原 課長 この、本計画策定時におきましてはそれを参考にして策定のほう、行っております。

喜多 委員 そうすると、各拠点で何が大事かという、これに書かれてあると思うんですけれども、多様性であるとか、連携性であるとか、ネットワークですね。この頃、インターネット等も普及してますよね。そうすると従来の、ただ単に地理的に近いところと、これももちろん大事です。だけど、そうじゃなくて、関係性とか、それと同じ関係性でも単なる、国が示している、今後、こういった、田舎という文言、使ってますけど、田舎に求める国の施策っていうのがあって、国自体が国土のグランドデザイン書いております。田舎に求めている要素もございます。それは何かといったら、地域の特性で、まさに世界の中でも誇れるような。

例えば、これ、阿南だったら加茂谷の水井の朱ですね。これなんか本当に日本でも有数のところなので、これなどを上手く活用して行って、関係人口を増やしていく。例えば1,000人に、2、3世帯増えたら、とりあえず今のよう存続できるだろうと、国のデザイン、書いております。そうすると、手前味噌なんですけど、私が農業高校なんで、要するに循環型で早く手を挙げろとかいう、そういった有機、こういったものとか、この地域の特性を活かした、将来に向けての、本当に少子高齢化に向けてのまちづくりしなきゃいけないんで、グランドデザイン、相当大切だと思います。

だから、図書館に至っても、単なる図書館作るんじゃなくて阿南らしさ。今後の将来を見据えて、10年後、20年後、30年後、50年後、阿南市がどうなっていくのか、そういうことに向けての拠点形成もしなきゃいけないし、単なる、ここの駅のところの拠点、それはもちろん大事なんですけど、もう少し各地域の特性をきちんと踏まえた拠点形成、今後、このまちをこうしていきたいんだよと。たとえば蒲生田がやっとうみガメ来てくれましたけど、ここはこういう自然を大切にしたい地域にしていきたいんだよと、ここで関係人口増や

[illegible]

佐々木委員　昨日、担当者さんと、直接お話もしたんですが、要望ということで。

この人口推移とかの表で見ながら、昨日、直接、市民生活課から今の人口とか、高齢化率とかを調べたんですけども、人口が今、2, 0 0 0 人ちょっとなんですよね。それで、3月の時点です。だからどんどん減っています。この計画の中にも、羽ノ浦とかの津波の来ない地域へ誘導していくっていう表現もありまして、「それ、どうするの」って聞いたら、周知というか、情報提供っていうことなんですけども、どんどん橘とかは減っていくと。若い世代もどんどん出て行って、でも動かない高齢者の人ももちろんたくさんいて。その中で、耐震化っていうのを今回、質問しましたが、仮にそこが、もう住まない、空き家にもなりますっていう家であっても、そこが避難ルートに大切な場所であつたら、何らかの方法でそこが避難ルートとして通れるような方法ですかね、家が崩れてこないような政策とかいうのも必要にもなってきます。

　　まちに人が住み続けるために、いろんな工夫が要ると思うんですが、それに対して、また今後、考えていていただきたいという要望をしておきます。よろしくお願いします。

西川副委員長　これって、通告してなかった質問は、

西川副委員長 要望で。
ありがとうございました。まちづくり特別委員会ってということで、今年も、

僕も参加させていただいて、副委員長で出させていただいてるんですけど、まちづくりっていう中で、あくまで今日、説明していただいたことって、立地適正化計画の資料だと思うんですよ。ちょっと言っていることが間違ってるかもしれないんですけど。

さっき、喜多さんが言っていたいただいたこともあるんですけど、この人口動態とかを単純に見ていったら、本当に縮小していくことばかり考えないかんかったりもするんですけど、やっぱりその地域の魅力であったりとか、その特性とか、防災でやっぱり安全性が高いとか、いろんなその魅力のところとか、伸ばしていきたいって思えるような何か、議論とかができるような、何か資料とかもほしいなっていうふうに思ったりしてて、ちょっと言ってることがずれてるのかもしれないんですけど。これだけ見たら、なかなか議論がしにくいなっていうのが、僕、ちょっと思ったりしてて。活発にもっと、ここをこういうふうに伸ばして。

例えばなんですけど、私の住んでる町とかだったら、平等寺とかあったりとかで観光の拠点整備とかしたらどうかなとか。だったら、こんな例があるから、こんなん、ちょっと参考に考えてみませんかとか、そういう話とかもできていくと思うんで。まちづくりするときに、この周辺地域全体で、ばこっと出てきて、それが立地適正化計画ってなったら、どこまでその詰めた話していいんかとかが、ちょっと難しいかなとか思ったりもして。その辺、またお願いできたらと思います。よろしくお願いします。要望です。

湯浅委員長 ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

湯浅委員長 質問等がないようでございますので、本日の議題は以上で終了したいと思います。閉会に当たりまして、副市長から御挨拶をいただきたいと思います。平井副市長。

平井副市長 一言、御挨拶を申し上げます。本日はまちづくり調査特別委員会を開催いただきまして、誠にありがとうございました。本委員会で賜りました、やはりこの持続可能な阿南市づくり、阿南のまちづくりに向けての御質問の趣旨、そして御要望の内容につきましては、今後の阿南市の施策、検討する過程でしっかりと年頭に置いて取り組んでまいりたいと、そのように考えております。湯浅委員長をはじめ、委員各位には今後とも御指導、御鞭撻賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

湯浅委員長 ありがとうございます。本日はこれにて散会いたします。お疲れ様でした。

【 10 : 36 閉会 】
